



『映画の風 from 奈良』

TOKIO OUT of PLACE presents

OoP's Film Weeks 『映画の風』

河瀬直美、横田丈実、
奈良前衛映画祭

1/22,23,24 横田丈実 作品
1/29,30,31 奈良前衛映画祭 推薦作品
2/5,6,7 河瀬直美 作品

1月30日(土) 夕刻
ライブパフォーマンス!!
金子遊監督 NAC 賞受賞記念
吉増 剛造氏
×
原 将人氏
(詩とシンセサイザー)



主催：TOKIO OUT of PLACE
106-0047 東京都港区南麻布 4-14-2 麻布大野ビル 3F
mail：contact@outofplace.jp
HP：www.outofplace.jp/

協力：組画(河瀬直美)、奈良前衛映画祭、横田丈実

©横田丈実「あかりの里」

OoP's Film Weeks 『映画の風 from 奈良』

恵比寿映像祭2010に先駆けて TOKIO OUT of PLACE では映画特集を企画しました。
奈良を拠点にしている2人の監督と奈良から発信する前衛映画のムーヴメントをご紹介します。
奈良から吹く映画の熱い風を、この機に是非ご体験ください。(全てDVDによる上映となります。)
お問い合わせ 0742-26-1001 or 03-5422-9699

2/5,6,7 河瀬直美

Talk Show 2/5 18:00~



©JWORKS/河瀬直美『火垂 2009 version』

上映作品 **H**「火垂 2009 version」(2009年/117分)
特別上映 **I**「火垂窯に集まった人達」(監督:永井義裕 2000年/58分) 入場料:各1000円(1drink付)
河瀬直美プロフィール
1969年奈良市生まれ。1989年大阪写真(現ビジュアルアーツ)専門学校映画科卒業。劇場映画デビュー作「萌の朱雀」でカンヌ国際映画祭新人監督賞を史上最年少受賞。その後、「火垂(はたる)」(2000年)「沙羅双樹」(2003年)「垂乳女/Tarachime」(2006年)などで映画祭での受賞を重ねる。「穢の森」は2007年カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞。2008年には初期ドキュメンタリー集DVD-BOX「紡ぐ」をリリース、また新作「七夜待(ななよまち)」が公開された。2010年8月に開催の「なら国際映画祭」エグゼクティブディレクターを務める。新作ドキュメンタリーが間もなく完成。
公式HP: <http://www.kawasenaomi.com/>

火垂 2009 version
2009年カンヌ国際映画祭で功労賞にあたる「黄金の馬車賞」を受賞した際に10年の時を経て『火垂』(2000年製作)を再編集し、特別上映した。カンヌ上映後、さらに再編集を加えたのがこのバージョンである。
ストリッパーの恭子に育てられ、自らもストリッパーとなったあやこは、妊娠、墮胎、男との別れを経験し、今や生きる意欲を失っていた。そんな中、彼女は天涯孤独の陶芸家・大司と出会う。互いに欠けている物を補うように強く惹かれ合うふたり。そんなある日、恭子が病に倒れ、
火垂窯に集まった人達
この映画は、「火垂」の中で重要な役割として存在する窯、通称「火垂窯」が、様々な人達の思いと力によって火入れが行われ、本来の陶芸家としての命が宿る瞬間を捉えたドキュメンタリー映像である。陶芸家・加藤委さんを中心とする作家10名の手により二月堂山中で制作。しかし、陶芸家本来の役割である「陶器を焼く」という行為は、劇中では実際には行われなかった。火垂窯に、「陶芸家」としての命を吹き込む火入れをすることで、映画『火垂』は初めて完成するのではないかと思われた河瀬監督は、最初で最後の火入れをする大イベントを企画。役者陣を含め、イベントに参加した多くの一般の人達の作品が、暗闇の中、まさに母胎を思わせる窯の中でゆっくりと命の鼓動を刻み始めたのである。

1/22,23,24 横田丈実

Talk Show 1/24 18:00~



©横田丈実『FISHBOX 魚箱』

上映作品 **A**「あかりの里」(2006年/106分) **B**「FISHBOX 魚箱」(1999年/65分) **C**「極楽寺、燃えた」(1994年/30分) + 「月光」(2007年/18分) 入場料:各1000円(1drink付)
横田丈実プロフィール
1966年奈良県斑鳩町生まれ。「鯛牛庵の夜」(1992年・53分)が、びあフィルムフェスティバルに入選して以降も奈良に留まり映画製作を展開。ラブストーリー、ドキュメンタリー、市民映画など作風は多岐に渡る。「大和川慕情」(2009年・73分)が13本目の作品。融通念佛宗浄念寺の僧侶でもある。
HP: <http://yamatogawa-bojo.main.jp/staff>

あかりの里
奈良のタウン誌「うぶすな」の企画による市民映画。伝統産業「灯芯引き」を軸に家族の再生を描く。美しい風景など地元の宝が詰まった内容が共感を呼び、現在も上映が続いている。
FISHBOX 魚箱
いつもぼんやりと過ごす涼子は「なます」と呼ばれている。ある日彼女は「さめ」と名乗る男と知り合って。ふわふわと揺れる恋模様を「鯉」「鮭」など魚種の付く漢字のエピソードで綴ってゆく。
極楽寺、燃えた
奈良県斑鳩町に実在した人物を、人々の証言だけで構成したドキュメンタリー。揺れ動く人物像の先に、「記憶」「生死」「村社会」などが浮き彫りになってゆく。
月光
月夜に起こった不思議な出会いを、台詞・音楽・効果音など一切の音を使わずに表現。出演はろうあ者劇団のメンバー。音をなくす事によって、見えるもの、聞かえるものがあるはず。出演・奈良ろうあ者劇団大仏も笑う会
1/23, 24 奈良まほろば館(日本橋 三越前)で横田監督の最新作「大和川慕情」が公開されます。是非あわせてご覧ください。 <http://www.mahoroba-kan.jp/>

1/29,30,31 奈良前衛映画祭

Talk Show + LIVE 1/30 17:30~ 1/31 16:30~



©金子遊「ヌバタマの宇宙の間に」 「狂った一頁」

上映作品 **D**「ぬばたまの宇宙の間に」金子遊 監督作品(2008年/59分) NAC 賞受賞作品 入場料:各1000円(1drink付) **E**「ペオグラード1999」金子遊 監督作品(2009年/75分) **F**「狂った一頁」衣笠貞之助 監督作品(1926年/59分) 川端康成原作 **G**「S par S」(2008年/42分)「ぼくのための、ぼくの時間」(2009年/43分) ピエール・シルヴェストリ 監督作品
深い歴史と文化が息づく奈良市を拠点に、2010年3月22日に「奈良前衛映画祭」が開催されます。「古きをたずねて新しきを知る」悠久の歴史に学んでこそ、新たな思想文化芸術が生み出されていくの考えのもと、時代を生きる先進的な創造活動を「前衛」と捉え「新しい発見、新しい出会い」、『価値観の変容・改革・変化』、『驚き・興味・必然性』など「止むに止まれぬ思い」を映像に託した作品を世界各国、さまざまな地域から公募しています。HP: <http://www.nara-zenei.com/>
ぬばたまの宇宙の間に
1997年~2007年間の10年間に撮影された、8ミリと16ミリによるフィルム日記。北は札幌や石狩、南は奄美大島、加計呂麻島、徳之島、喜界島などの奄美群島、西はヨルダンやイラクまで、カメラをもった男が疾走する。
ペオグラード1999
新右翼「一水会」の木村三浩に接近し、その活動を撮影したドキュメンタリー。イラクやキューバと国際的な反米ネットワークを作ろうとする木村は、空爆直後のユーゴスラビアへ出発。その旅に随行した監督が見たものは、権力が発生する現況であった。
狂った一頁
大正末期、川端康成をはじめと、いわゆる新感覚派の協力を得て、衣笠貞之助が日本映画史上はじめて監督として自力で製作した作品。狂った妻が入院している精神病院に勤める小使いの目を通して、非日常の世界を光と影の中に描いた映像。1971年に消滅したものとされていたフィルムが、偶然に発見され、フランスやイギリスで公開、大成功を収めた。
S par S ぼくのための、ぼくの時間
1/31 奈良在住のフランス人映像作家ピエール・シルヴェストリの2作品を上映。上映後監督によるトークと ゆや による歌語りLIVEあり。
1/30 17:30~「ペオグラード1999」上映後、金子遊監督のNAC賞受賞を記念してライブパフォーマンス(吉増剛造x原研人)、トーク(金子遊x吉増剛造x原研人)を開催します。入場2500円(映画+ライブ+トーク+1drink)

TOKIO OUT of PLACE
トキオ オウト オフ プレイス
〒106-0047
東京都港区南麻布4-14-2 麻布大野ビル3F
tel/fax: 03-5422-9699 or 0742-26-1001
mail: contact@outofplace.jp
HP: www.outofplace.jp/

	1/22 (金)	1/23 (土)	1/24 (日)	1/29 (金)	1/30 (土)	1/31 (日)	2/5 (金)	2/6 (土)	2/7 (日)
12:00		B 12:00~					H 12:00~	I 12:00~	I 12:00~
13:00	A 13:30~	C 13:20~	B 13:00~	D 13:00~	D 13:00~	D 13:00~	H 13:30~	H 13:30~	
14:00		A 14:30~	C 14:20~	F 14:15~	F 14:15~	F 14:15~	I 14:30~		
15:00									
16:00	B 15:40~			D 15:30~	D 15:30~			I 16:00~	I 16:00~
17:00	C 17:00~	B 16:40~		F 16:45~				H 17:30~	H 17:30~
18:00	A 18:10~	C 18:00~		D 18:00~					

入場料:各プログラム1000円(1ドリンク付) 各トークショーは上映作品とのセット料金(1ドリンク付 セットにより価格は異なります) 予約は受け付けていません。また、当会場は映画館ではありません。ギャラリースペースにスチール椅子を置いて御覧いただけます。25席限定になりますので、それ以上の入場は立ち見になります。何卒ご了承ください。

文中敬称略